

支援・進路部通信

NO. 4

令和7年12月25日

東京都立調布特別支援学校長

中村 由美子

支援・進路部 加藤 幸吉（文責）

スポーツフェスタに学習発表会、たくさんの成長が見られた2学期でしたね。今回の通信は各学年の学習の様子です。

冬休みも体調を整え、3学期の始業式、元気に登校してきてください。それでは皆さん、よいお年をお迎えください。

＜中1 就業体験＞

11月12日（水）、国立大学法人電気通信大学西地区体育館前で落ち葉掃きを体験しました。事前学習で、校内で働く人たちにインタビューを実施しました。その中で「元気に挨拶すること」「協力すること」「最後までやり遂げること」など様々な話を聞きました。体験当日は、大学の職員、学生、コスモ調布ヶ丘の方々が各グループに入り一緒に落ち葉掃きをしました。「ゴミ袋を持ってください」「ちり取りをお願いします」など声を掛け合い、協力をしながら取り組むことができました。体験前にはたくさんあった落ち葉が無くなり、協力してくれた方々から「ありがとう」の言葉を受け、誇らし気な表情を浮かべていました。中2、中3、そして高等部に向けて「働くこと」を一人一人が考えていけるように今後も取り組んでいきたいと思います。

＜小5 お仕事体験＞

11月5日（水）、12日（水）の2回、調布銀座にある「暮らしの衣料まつざわ」で「お仕事体験」を行いました。事前に「仕事ってどんなものがある？」という学習をし、給食やスクールバスなど身近な仕事を調べて、仕事に関する興味・関心を高めてから体験に向かいました。当日は本物のレジを打ったり、受け取ったお金をレジにしまったり、商品を袋に入れる仕事を体験させていただくことができました。緊張しながらも一人一人が真剣に仕事に向き合い、よい体験をすることができました。最初はドキドキして不安がいっぱいだった児童も、「いらっしゃいませ！」と声を出したりすることで緊張がほぐれ、笑顔で接客をができていきました。また、お客様として全員がハンカチを購入しました。店員と客の役割をどちらも体験することができ、充実した学習となりました。

＜中2 就業体験＞

9月17日（水）と24日（水）、調布市社会福祉協議会で就業体験を行いました。「社会にはさまざまな仕事があり、多くの人々が働いていること」を知り、進路への興味・関心を高めることを目的としました。当日は、物品消毒や室内清掃、軽作業などに取り組みました。生徒たちは緊張しながらも、依頼された作業に真剣に向き合い、丁寧に取り組んでいました。作業を終えた後に職員から、「ありがとう」と言葉をかけていただき、自分の働きによって感謝を直接伝えられて嬉しさを感じることができたと思います。

事後学習として、感謝の気持ちを込めてお礼状を作成し届けたところ、大変喜んでいただきました。今回の経験は、生徒たちにとって働くことの意味を考える貴重な機会となりました。これからも、この学びを生かして意欲的に取り組んでいきたいと思います。